

審議会等の議事の要旨（要点）

（基本情報）

会議名称	立川市環境審議会
開催日時	令和4年3月1日（火曜日）15時～16時25分
開催場所	立川市役所本庁舎2階210会議室
次第	1. 環境審議会会長の互選について 2. 環境審議会副会長の互選について 3. 諮問 環境施策の進捗状況について（たちかわし環境ブック2022） 4. 議題 令和3年度家庭で取り組むエコチャレンジについて たちかわし環境ブック2022について
配布資料	（当日配布） 資料1. 令和3年度家庭で取り組むエコチャレンジ審査表（優良事例賞候補チーム） 資料2. 令和3年度家庭で取り組むエコチャレンジ事前審査採点結果 資料3. 環境ブック特集について 資料4. 第13期立川市環境審議会委員名簿
出席者	[委員] 上栗 優一、西澤 正明、古谷 登美、齋藤 孚彦、甲野 毅、 村田 佳壽子、山下 英俊、中島 孝昌、岡村 優子、富川 泰介、 近藤 豊、佐藤 達哉、田中 準也(敬称略) [事務局] 小倉 秀夫（環境下水道部長）、横塚 浩一（環境対策課長）、 村上 満生（環境推進係長）、小宮山 英稔（環境指導係長）、 石原 光胤（温暖化対策係長）、山口 文寿（環境推進係）
公開及び 非公開	公開
傍聴者数	1人
会議結果	・ 環境審議会会長の互選：会長に甲野委員が選任された。 ・ 環境審議会副会長の互選：副会長に山下委員が選任された。 ・ 議題：令和3年度家庭で取り組むエコチャレンジ審査について 審査の結果、優良事例を6件選出した。 ・ 議題：たちかわし環境ブック2022について 環境ブックの特集について、事務局提案の内容で了承された。
担当	環境下水道部環境対策課環境推進係 電話 042-528-4341

第13期 第1回立川市環境審議会 会議録

開催日時 令和4年3月1日（火曜日） 15時～16時25分

開催場所 立川市役所本庁舎210会議室

出席者〔委員〕上栗 優一、西澤 正明、古谷 登美、齋藤 孚彦、甲野 毅、
村田 佳壽子、山下 英俊、中島 孝昌、岡村 優子、富川 泰介、
近藤 豊、佐藤 達哉、田中 準也(敬称略)

〔事務局〕小倉 秀夫（環境下水道部長）、横塚 浩一（環境対策課長）、
村上 満生（環境推進係長）、小宮山 英稔（環境指導係長）、
石原 光胤（温暖化対策係長）、山口 文寿（環境推進係）

1 環境審議会会長の互選

会長に、甲野毅委員が選任された。

2 環境審議会副会長の互選

副会長に、山下英俊委員が選任された。

3 諮問

清水庄平市長が諮問を行った。

諮問：環境施策の進捗状況について（たちかわし環境ブック2022）

4 議題

<令和3年度家庭で取り組むエコチャレンジ審査について>

事務局から、各委員に事前審査をいただいた審査結果について、資料1、資料2をもとに説明を行った。

○委員意見（概要）

- ・令和3年度エコチャレンジについて優良事例を5件選ぶことになっているが、事前審査の票数の多い順にするか、特に推す事例があればご意見等お願いしたい。票数順には、最多の票数を集めた No77 から、ちょうど5事例になっている。77の事例は、エアコンをつけないという取組であるが、無理をしている感じではない。昔は、環境教育でエアコンは使わないとされてきたが、現在はいかに利用するかとなっている。1票のみの事例で特に推す事例があれば、委員の皆さんから紹介してもらいたい。
- ・小学校でゴーヤの種を植えて子ども達に環境学習を行っている。第二小学校で緑のカーテンの取組を行っている。緑のカーテンを実施している No78 の事例がよい。
- ・コロナの影響で中止になっているが、立川市の環境フェアでゴーヤの苗を配っている。東日本大震災以降、緑のカーテンがブームになったが、現在は当たり前になったかもしれないが、少し忘れかけているように思われる。緑化は有効。

- ・私も 78 の事例を推した。緑のカーテンは、環境の取組にマッチしている。節電を意識して我慢が主になるのは本来の目的と違うのではないか。熱中症の心配もある。工夫した取組による節電が望ましい。
- ・No44 を推す。地球全体のことを考えて SDG s が目標に入っている。その一方で、親を喜ばせるということも目標にあり、SDG s の広い面と家庭という身近な面の両方が入った良い取組である。
- ・事前審査で 3 票以上集めた 5 事例は、優良事例で決定してよいか。5 事例を超えてもよければ、緑のカーテンの取組に 2 票入っているのので、優良事例に入れたい。No44 は、1 票のみなので入れない。6 事例を優良事例とする。表彰はどうなるのか？
⇒例年は、6 月の環境フェアで表彰していたが、来年度は 10 月予定なので、どのような形で行うのか考える。(事務局)
- ・通常であれば、市長から直々に渡される。
- ・エコチャレンジのことは初めて知った。エコチャレンジ全般の仕組みについて知りたい。小学生はどうやってエコチャレンジのことを知っているのか？評価するとき大人目線から見ると大人コメントに目が行ってしまう。子どもがエコの考え方をどう身につけるかが重要である。やっている内容がお仕着せのようなイメージがある。ユニークな取組も取り入れる必要がある。
- ・長く携わっていると今のエコチャレンジの取組が当たり前になってしまった。環境家計簿がもともとの始まり。夏休みで取り組みやすい。配り方はどうなっているか？
⇒市内市立小学校 19 校に、平成 31 年度から児童全員分のチラシを配布している。先着 100 組までが対象になるが、今年度は申込締切期限前に 100 組に達し締め切りとなった。(事務局)
- ・エコチャレンジに関して抜本的な改革の必要性が委員からあったが、現在の仕組みを活かした改善を提案したい。現状、取り組むメニューが固定のままよいか、毎年見直してもよいか、新しい取組の CO₂ 削減量をどう算出するのかという問題がある。市民に知ってほしいような取組は追加できるようにした方が良い。優良事例を CO₂ 削減量だけで選ぶわけではないこととなっているので、CO₂ 削減量を考えずに、やると面白い取組は入れられるようにした方が良い。また、100 組の上限はなくてもよいのでは？
- ・エコチャレンジについては、従来通りのやり方が続いている。今すぐの変更は難しいが、事務局と改善できることは行っていきたい。
⇒了承しました。(事務局)

<たちかわし環境ブック2022について>

事務局からたちかわし環境ブックの概要説明を行い、来年の環境ブックの特集について、立川市クリーンセンターを取り上げることを提案した。

○委員意見（概要）

- ・配布された「たちかわし環境ブック2021」については、完成したので見てくださいということでしょうか？前回の審議会での意見で修正できるものは修正したということでしょうか？特集については、環境ブックが白書的なものだと面白くないことや環境教育に使えるかということで、話題になった事柄を2006年から取り上げてきた。今回、特集に提案されたクリーンセンターは、立川にとって重要なものであるので、取り上げるということだが、いかがでしょうか。
⇒「たちかわし環境ブック2021」については、その通りです。クリーンセンターは、令和4年秋に試験運転、本格稼働は令和5年4月からになる。学習棟を備え、環境学習もできる施設になる。小さいうちから環境学習のきっかけになれば良い。本格稼働の前に特集で取り上げたい。（事務局）
- ・クリーンセンターは、学習棟、発電機能、壁面緑化など環境にやさしい施設であり、隣には広場もある。立川市でもあれだけ大きい設備を作るのは滅多にないこと。機会があれば、施設見学で見てもらえれば良い。
- ・見学会の開催を企画してもらえるとありがたい。
- ・環境ブックをはじめて知った。表紙に「たちかわし環境ブック」とわざわざ「たちかわし」を平仮名にしているの、それなりに幅広く知らせる意図があるのだろう。中身はすごく固く、特に後ろのページは市民が一般的に見てわからない。特集ページは良いと思う。これからの環境政策を担うのは、子どもなので、子どもに読んでもらうには相当やわらかく書かないと伝わらない。データ部分の白書と特集部分を分けて、読む層に向けてアレンジしたらどうだろうか。
- ・毎回、同意見が出ている。正直言って難しいところである。
⇒取り入れられることは検討する。もっと簡単に説明できるか考えたい。（事務局）
- ・環境ブックは、改良できることは改良してきた経緯がある。データだけの白書は子ども達には難しい。2本立てにできるのではないか？
- ・ダイジェスト版は、どうでしょうか。
- ・作成したことがあるが、結局わかりにくい冊子になり、反省点になった。誰をターゲットにして作成するのかをよく考える必要がある。
⇒小学生向けに特集を別の冊子にすることも検討する。（事務局）
- ・学校向けのダイジェスト版はどうか。
- ・学校での環境ブックを活用する場や環境学習の現状はどうなっていますか？

- ・環境教育は、小中学校とも重視している。環境ブックは、活用の仕方では効果的なものになると思っている。一方で、様々な情報があり過ぎて活かしきれぬかは懸念される。新清掃工場は、魅力的な環境学習の場である。令和4年度から立川市民科という学習が本格的に始まる。立川市にフォーカスしたものである。特集の部分だけでもホームページに掲載されているか？タブレットを使って特集をまとめ学習で活用するには、電子だとデータを使いやすい。
⇒環境ブックそのものは、電子データがホームページに載っている。(事務局)
- ・調べ学習においてデータの活用は重要である。環境ブックの特集については、「立川市クリーンセンターについて」で了承。

5 その他

事務局から、次回環境審議会の日程は例年通り、10月から11月頃を予定していることを説明。

以上